

平成30年3月7日
帯広開発建設部**河川事業により被災農地の災害復旧支援を行いました
～約14万m³の河道掘削土の提供が終了～**

帯広開発建設部では、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として河道掘削を実施しています。

平成28年8月の一連の台風災害の影響により表土流出等の被害があった十勝川流域の農地に対する災害復旧支援として、昨年12月12日から十勝川の河道掘削土の提供を行ってききましたが、本年2月26日までに約14万m³の運搬(ダンプトラック約2万5千台分)を実施しました。

平成28年の北海道においては、8月17日から31日までの2週間に3つの台風が上陸、1つの台風の接近により道東を中心に記録的な大雨となり、十勝川流域の農地では、表土流出などの大きな被害が発生しました。

帯広開発建設部では、河川整備計画等に基づき、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として河道掘削を実施しているところですが、今回被災した農地の迅速な災害復旧を図ることを目的として、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJA、帯広開発建設部などを構成員とする「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」が開催され、河川工事などにより発生する土砂の提供などについて協議を行いました。

帯広開発建設部では、同会議に基づき調整が図られた農地に対し、昨年12月12日から河道掘削土の提供を行ってききましたが、平成30年2月26日までに14万m³の運搬が完了しましたのでお知らせいたします。なお、これにより平成28年12月15日から提供を開始した掘削土の総量は58万m³となりました。

なお、次年度上半期についても、十勝川では「北海道緊急治水対策プロジェクト」の一環として河道掘削を推進していく予定であり、引き続き同会議において関係者と調整し、必要な河道掘削土の提供で被災農地の支援をしてまいります。

※プロジェクトの詳細は、以下のURL から御参照ください。

「北海道緊急治水対策プロジェクト」

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/ud49g7000000xh76-att/09_tisuipj.pdf

【問合せ先】**○河川掘削土の運搬に関すること**

国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

池田河川事務所 副所長 坂内 利孝 電話 015-572-2661 (代表)

○その他に関すること

国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

治水課 課長 米元 光明 電話 0155-24-4105(内線291)

帯広開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

十勝川における河道掘削土の運搬について

【十勝地方における取組】

○十勝川流域の農地では、平成28年8月の洪水などによって表土流失などの大きな被害が発生。これら農地の迅速な災害復旧を図るため、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJAなどとともに、「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」などを開催。

帯広開発建設部では、河川事業による農地の災害復旧支援のため、引き続き**12月12日から順次河道掘削土の運搬を行った。**

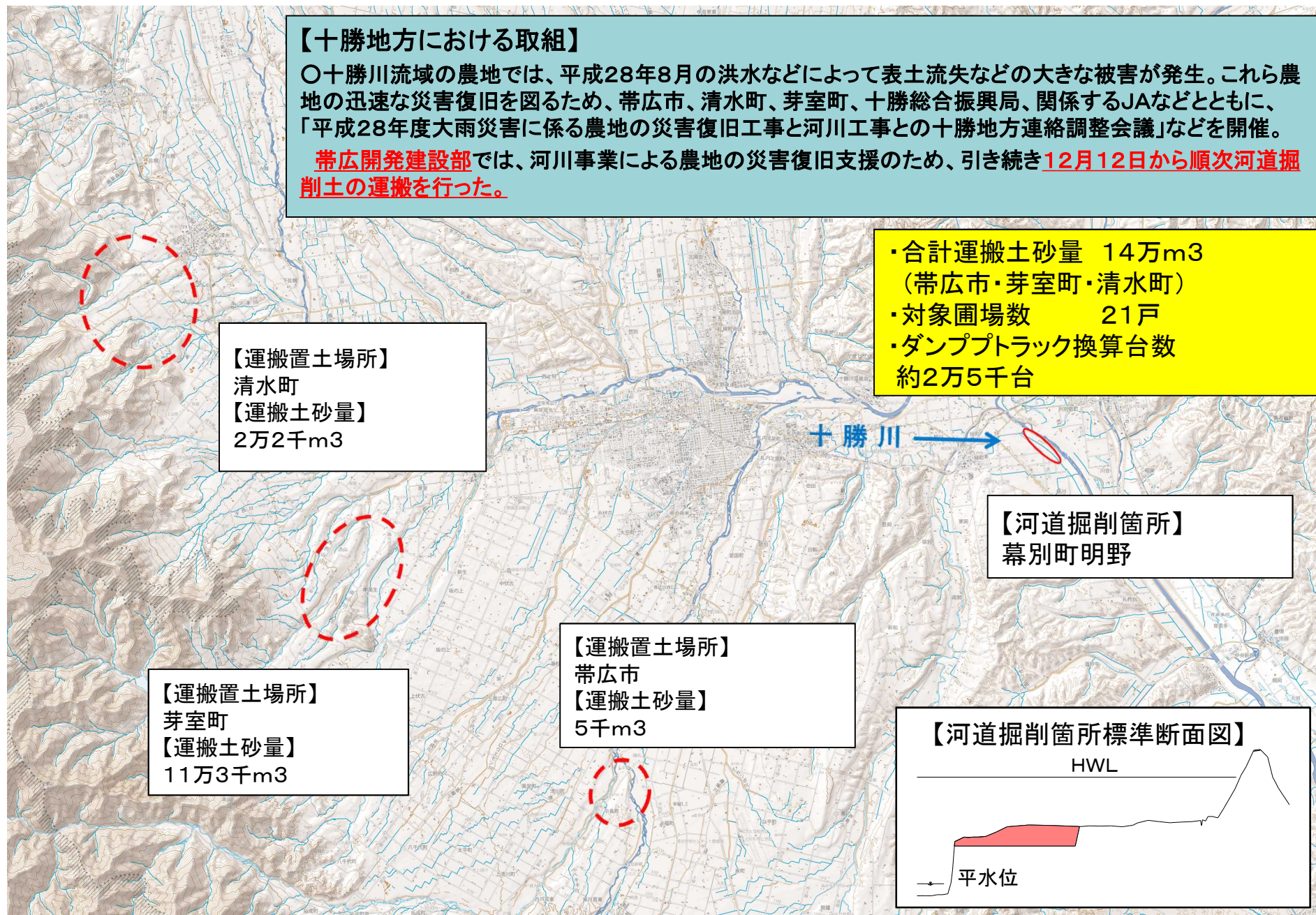
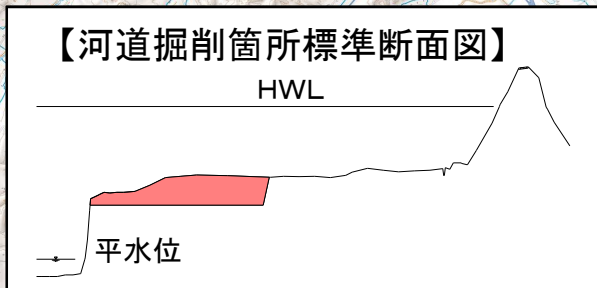
- ・合計運搬土砂量 14万m³
(帯広市・芽室町・清水町)
- ・対象圃場数 21戸
- ・ダンプトラック換算台数 約2万5千台

【運搬置土場所】
清水町
【運搬土砂量】
2万2千m³

【運搬置土場所】
芽室町
【運搬土砂量】
11万3千m³

【運搬置土場所】
帯広市
【運搬土砂量】
5千m³

【河道掘削箇所】
幕別町明野



復旧前の農地



河川掘削土の搬出



復旧が完了した農地



被災した農地への搬入



【土砂運搬状況】

- ・運搬車両は日平均で300台程度。
- ・冬期の厳しい条件下の作業であったが、関係者の協力により、予定通り運搬を完了。

【地元農家の声】（十勝総合振興局からの聞き取り）

- ・被害を受けた農地面積が大きく、復旧にはかなりの時間がかかると思っていたが、平成30年に作付けが出来る目処が付き安心した。